

## 能登半島地震の被災障害者支援に向けて 講演会報告

2月3日土曜日にサンフォルテにて今年1月1日に起きた能登半島地震について、被災障害者の救援活動を行っている「NPO法人 ゆめ風基金」から阿部俊介さんと八幡隆司さんをお招きして講演会を開催しました。

阿部さんは東日本大震災で自宅が津波で流されて避難生活を送られた経験を持つ障害当事者です。震災後の避難所は人が多く入れず、親せき宅でしばらく過ごしたことや、仮設住宅は高齢者・障害者優先ということで見学したけれど狭く車いすで出入りできない造りであり、仮設住宅前の道が砂利道で車いすが動けない状態であったのであきらめたこと等が話されました。震災の経験から現在は水や食料を備蓄したり車のガソリンは常に満タンに近い状態にしておくなど日常的に災害に備えた生活を送っておられるとのことでした。

八幡さんからは、ゆめ風基金から現地調査に行ったメンバーの報告を基にお話していただきました。地形的に外からの支援が入りやすかった阪神大震災や熊本地震の時と違って輪島や珠洲に向かおうとしても道路が寸断されていて、なかなか救援部隊が入れないこと、また支援活動をしている人たちが宿泊できるような施設がないので一度金沢まで戻らないといけないことや高齢化が進む中マンパワー不足の問題もあり、職員が疲弊していく中で施設に入所している方達の入浴介助をしてくれる



人が足りない状態だという話もありました。

今回の地震は富山でも被害があり津波警報も出たため関心が高く多くの方に参加いただきました。Zoomで参加された方達には途中機器の不調で画面が停止する等ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。（文責 田中）

